



平成 23 年に末吉の女性支部長に就任。現在、曾於市地域女性団体連絡協議会の会長 2 期目である神崎さんにお話を伺いました。

神崎 陽子さん



目指せ！男女共同参画社会

— 女性団体として活動をするきっかけは？ —

夫の退職を機に末吉に帰ってきた頃、校区公民館長から「柳迫の女性部長になつてもらいたい」という話がありました。はじめは断りましたが「人との出会いがあるからやってみたら？」と主人の後押しもあり、女性部長を引き受けました。

役員を引き受けたと同時に、女性団体末吉支部の副会長に。翌年には、会長を薦められ、今に至ります。

— 地域女性団体連絡協議会とは？ —

地女連は約 400 人の会員からなり、地域の女性たちが協力し、交流や活動を通して絆を深め、共生・協働の心を大切にした地域づくりをめざして活動しています。活動内容は、すみよしの豊祭で手づくりの甘酒・こんにやくのふるまい、子供フェスタでは、カレーをつくり皆さんから好評をいただいております。その他にも、様々なイベントに多数参加しています。

— 活動を始めて感じたことは？ —

活動を通していろんな人との出会いがあり、どこに出かけても「あらー！」と声をかけてもらえて嬉しいです。私は人と人とのつながりを大事にしていけば、どんな活動も自然とみんながついてきてくれるのかなと思っています。

— 今後の活動で望むことがありますか？ —

今年はコロナの影響で何もかも中止や延期ですよね。私としては、2月の女性大会だけは成功させたいと思っています。皆さんが来てよかったと思えるように準備を進めていきたいです。

— 地域で感じていることは？ —

柳迫校区は何をするにもすぐくまとまっています。「女性がしっかりとっているからまとまっているのよ」って言われたりします。いろんな行事をするたびに、団結して皆さんが協力してくださるので、地域に女性が参画していると実感しています。

— 家庭での役割分担は？ —

夫は自分から部屋の掃除、お風呂の掃除をしてくれます。私は食事をつくり洗濯するのが担当で、あとは二人で協力し合っています。

— 男女共同参画懇話会委員で感じたことは？ —

「男女共同参画」と言われてもよくわからなかったのですが、懇話会委員となり、人との出会いやいろいろな場で活動することで、個人が能力を発揮し合って、みんなで協力しお互いを支え合っていくことが、「男女共同参画社会」なのかもしれないと最近感じています。

人口減少が進む今、女性団体は、地域にとってかせないものとなっており、曾於市にとっても女性のパワーは原動力となっています。今後もしリーダーとして更なる活躍を願っています。

【取材】県男女共同参画地域推進員
島子正一郎・馬場雅子・
牧元宝治・末永順子